子どもの選TAXI

～貧困の子供にも選択肢を！～

4年			近藤	津幡	丹羽
3年		柴田	南後	藤原	古瀬
2年	来住	小出	高橋	星野	細谷

発表の流れ

1. テーマ設定理由
2. 現状・制度・課題
3. 取材結果
4. 課題の整理
5. 政策提言
6. まとめ
7. お世話になった方々
参考資料

1 テーマ設定理由

教育格差が大きい

- 憲法や法に定められている平等は実現されていないのでは？

  例1）貧困家庭の子どもは塾に行けない
  例2）親が教育に無関心で進路の実現が厳しい

教育基本法

第3条　（教育の機会均等）　すべて国民は、ひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならないものであって、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

子どもの貧困対策の推進に関する法律

第一条 （目的）「この法律は、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、全ての子どもが心身ともに健やかに育成され、及びその教育の均等が保障され、子ども一人一人が夢や希望を持つことができるようにするため…子供の貧困対策を総合的に推進することを目的とする。」

第二条 （基本理念）「子供の貧困対策は、社会のあらゆる分野において、子どもの年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され子どもが心身ともに健やかに育成されることを旨として、推進されなければならない。」

2

現状・制度・課題

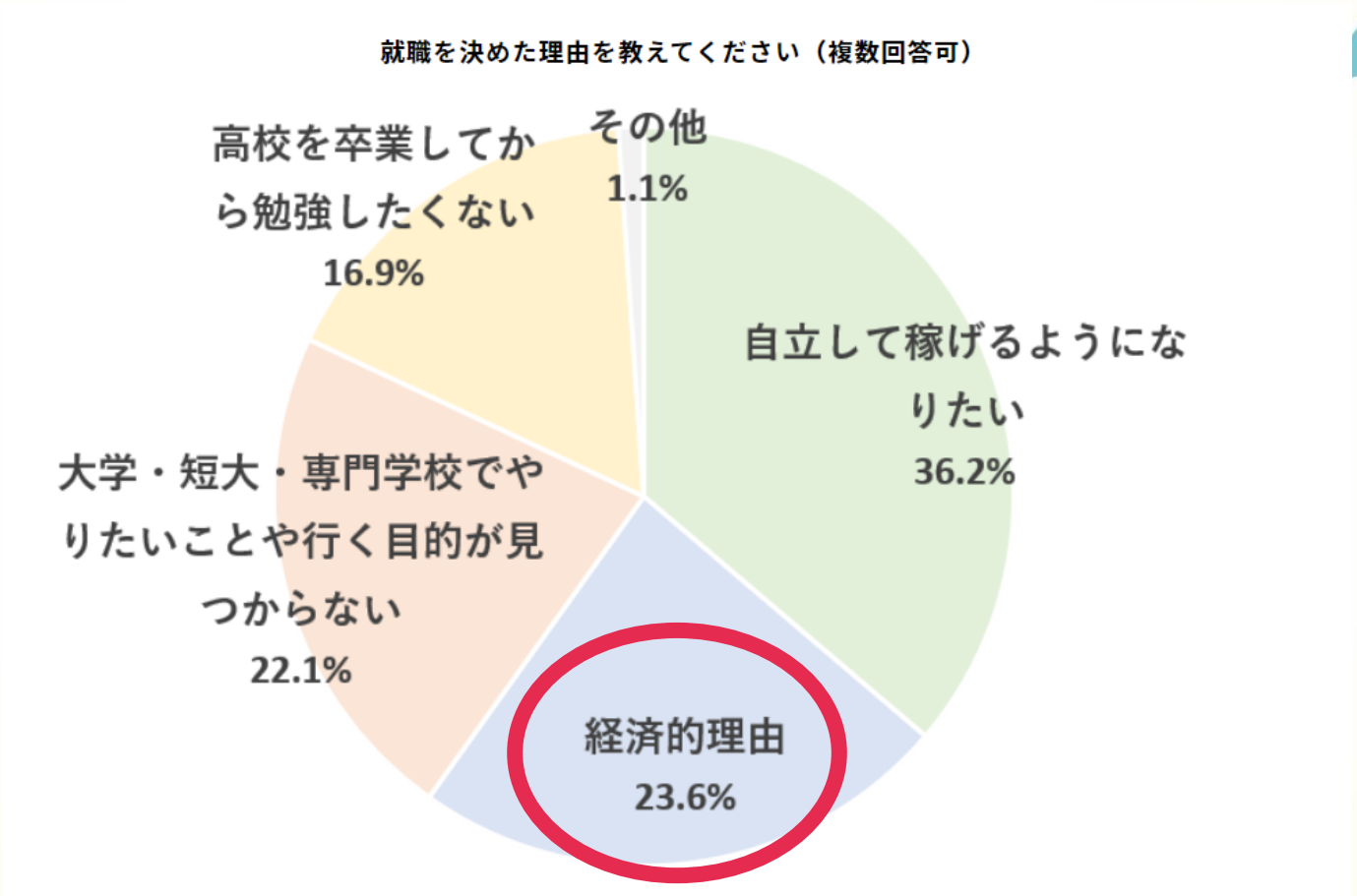
高等教育機関卒業までにかかる費用

幼稚園：学校教育費・給食費・園外活動費
小学校・中学校・高校：学校教育費・給食費・学校外活動費
大学：入学費・在学費

	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学
公立	約65万円	約200万円	約150万円	約140万円	約540万円
私立	約160万円	約960万円	約420万円	約290万円	文系：約730万円 理系：約830万円

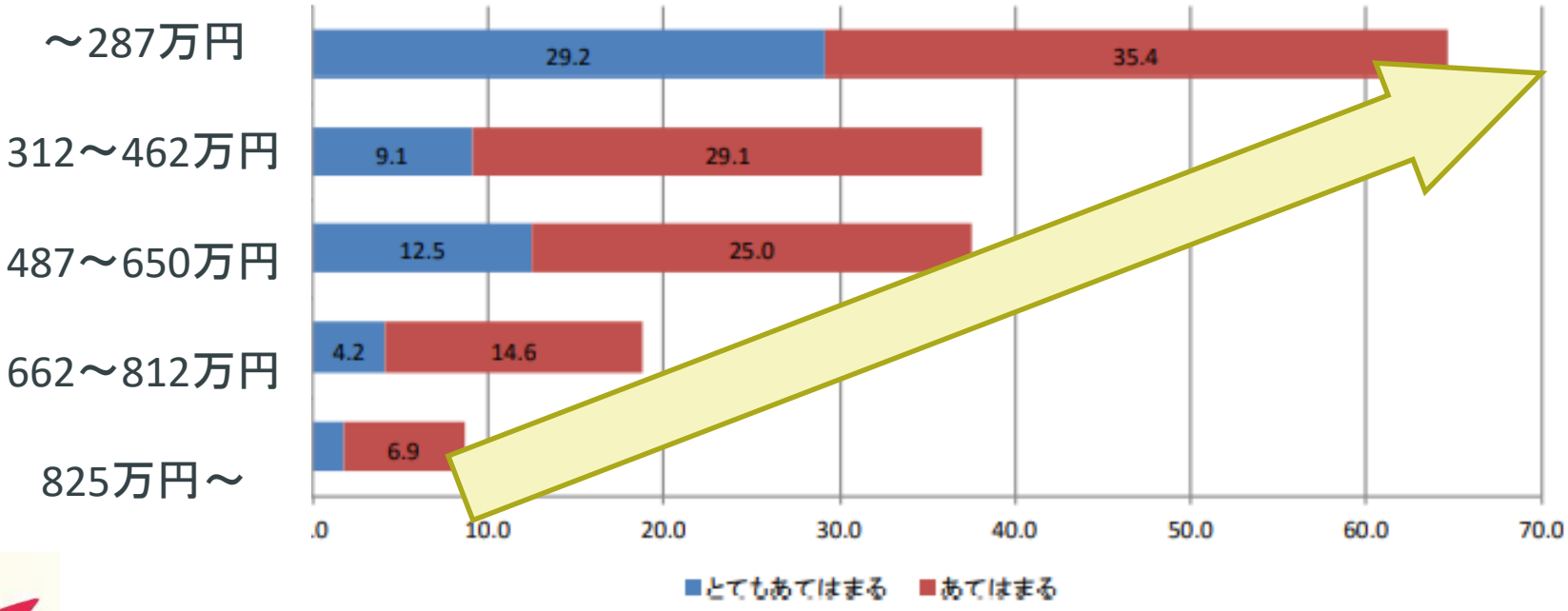
文部科学省「子供の学習費調査」(平成30年度)
日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査」(2019年度)

高卒後、就職を決めた理由



高卒後、就職を決めた理由

年収階級別「経済的に進学が困難だった」（就職者のみ、%）



就学支援

スクールソーシャルワーカー

- 家庭訪問、市町の生活保護課やスクールカウンセラーのカウンセリング、法テラスとつなぐ

学習支援

- 地域住民の協力とICTの活用により、中高生へ無料の学習指導

居場所づくり

- 放課後児童クラブと体験教室を一体化

国による金銭的就学支援（奨学金）

日本学生支援機構

- 2020年4月、就学支援新制度スタート
- 給付、貸与（第一種：無利息、第二種：利息つき）

日本政策金融公庫

- 教育ローン。該当大学の進学者が対象で、成績・家庭の経済事情・地方出身であることが主な条件となる。

母子父子寡婦福祉資金貸付金制度

- 内容：授業料、書籍代、交通費
- 所管省庁：厚生労働省
- 申請・問合せ：最寄りの地方公共団体の福祉担当窓口

国以外による金銭的就学支援（奨学金）

民間団体の奨学金

- 給付型(就職や返済義務といった縛りなし)
- 採用枠の小ささが課題

大学独自の奨学金

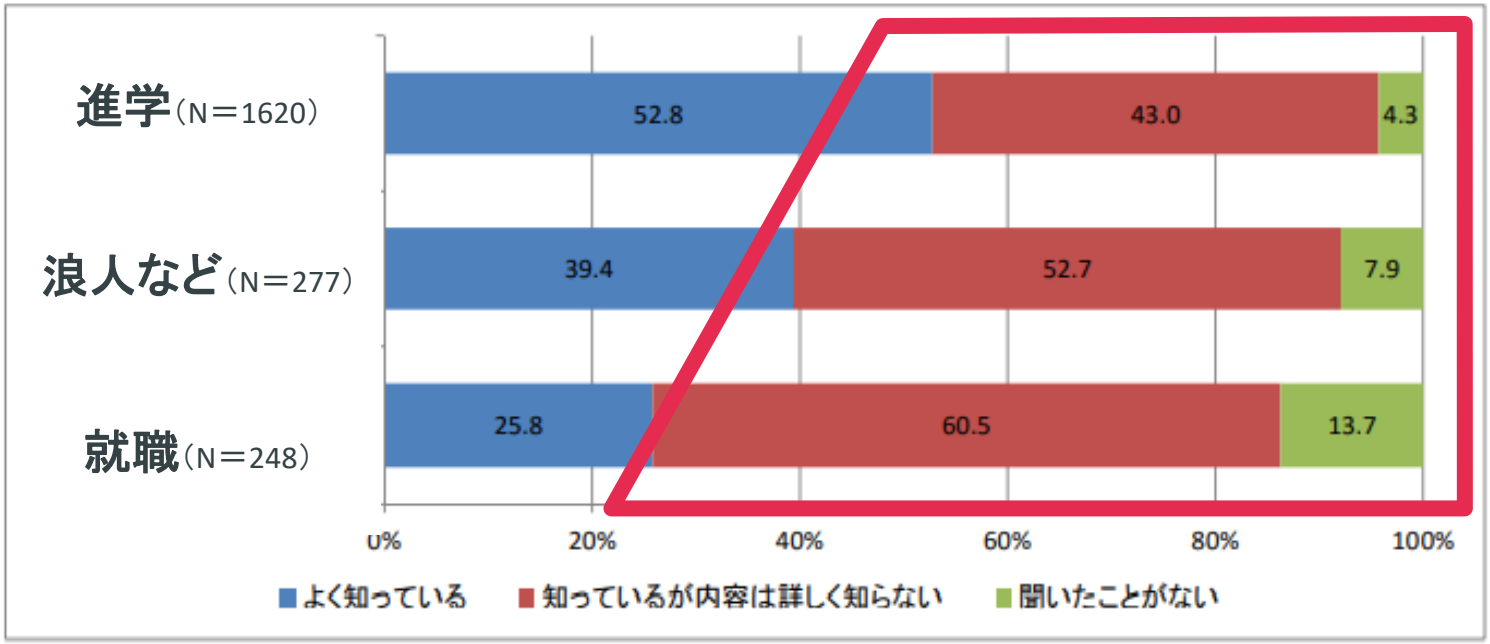
- 該当大学の進学者が対象で、成績・家庭の経済事情・地方出身であることが主な条件となる。

企業や自治体の奨学金制度

- 卒業後の支援会社への就職という条件や、雇用した社員の奨学金を肩代わりするという形が多い

奨学金の利用状況

進路別にみる奨学金の認知度

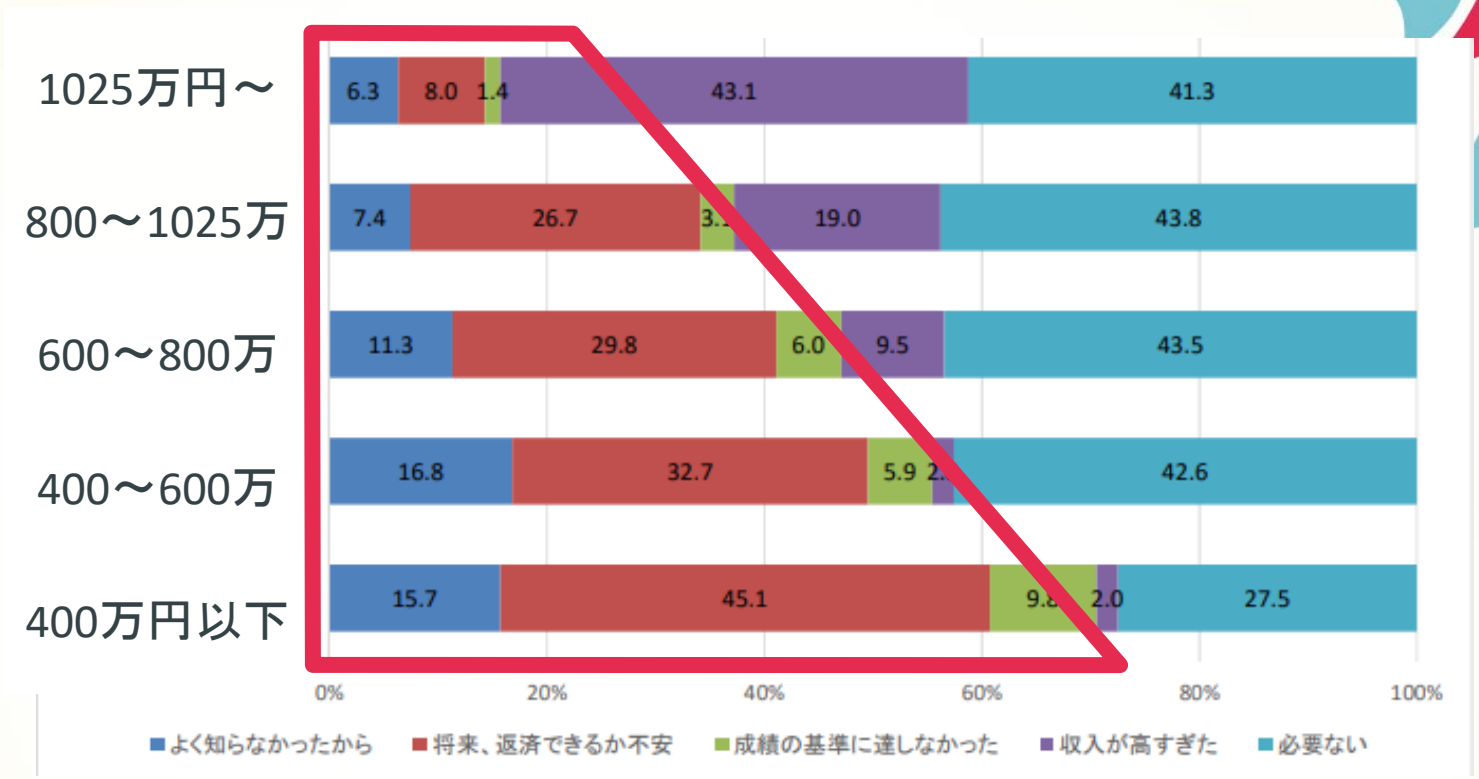


「家庭の経済状況・社会状況に関する実態把握・分析及び学生等への経済的支援の在り方に関する調査研究」報告書（第2章）
国立大学法人東京大学（平成28年9月7日～平成29年3月31日）

➡ 就職をした人の **74.2%** が

「聞いたことがない」or「知っているが内容は詳しく知らない」

所得層別にみる奨学金を応募しなかった理由



「家庭の経済状況・社会状況に関する実態把握・分析及び学生等への経済的支援の在り方に関する調査研究」報告書（第2章）
国立大学法人東京大学（平成28年9月7日～平成29年3月31日）

➡年収400万円以下の **60.8%** が
「よく知らなかったから」「将来、返済できるか不安」

「将来、返還できるか不安」

実際返還できない人ってどれくらいいるの？

返還が難しくなった場合の対処法は？

奨学金の延滞率（令和元年度）

- 学生数　3,609,981 人
- 貸与者数　1,270,225 人
- 過去5年間の貸与終了者数[A]　2,240,457 人
- [A]のうち延滞3月以上の者[B]　34,387 人

➡ [B] / [A] ＝ **1.5 %**

ほとんどの場合、問題なく返還が可能

奨学金延滞者について①

返還義務を知った時期

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	996	50.3%	1,293	89.4%
申込手続中	287	14.5%	72	5.0%
貸与中	129	6.5%	40	2.8%
貸与終了時	65	3.3%	8	0.6%
貸与終了後～返還開始前	77	3.9%	14	1.0%
返還開始～督促前	83	4.2%	3	0.2%
延滞督促を受けてから	163	8.2%	3	0.2%
その他	14	0.7%	1	0.1%
わからない	167	8.4%	13	0.9%
計	1,981	100.0%	1,447	100.0%
無回答	67		11	

令和元年度奨学金の返還者に関する属性調査結果

もし返還が難しくなったら？

・**減額返還制度**　（月々の返還額を少なくする）

・**返還期限猶予制度**　（返還を待ってもらう）

奨学金延滞者について②

▼返還期限猶予制度の認知状況

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	64	3.2%		278	19.1%	
返還が始まる前までには知っていた	69	3.4%	78.1%	301	20.7%	61.8%
返還が始まってから知った	353	17.5%		285	19.6%	
延滞督促を受けてから知った	1,091	54.0%		34	2.3%	
知らない	443	21.9%	21.9%	556	38.2%	38.2%
計	2,020	100.0%	100.0%	1,454	100.0%	100.0%
無回答	28			4		

▼減額返還制度の認知状況

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	44	2.3%		200	14.5%	
返還が始まる前までには知っていた	44	2.3%	63.3%	241	17.4%	49.7%
返還が始まってから知った	227	12.1%		217	15.7%	
延滞督促を受けてから知った	874	46.5%		29	2.1%	
知らない	689	36.7%	36.7%	695	50.3%	50.3%
計	1,878	100.0%	100.0%	1,382	100.0%	100.0%
無回答	170			76		

返還前の認知度

延滞者の方が圧倒的に低い

認知度

無延滞者・延滞者に関わらず、低い

令和元年度奨学金の返還者に関する属性調査結果

ここまでの課題（仮説）

事実

奨学金制度が多数あるにもかかわらず、

金銭的理由により進学を諦めた人が多い

課題（仮説）

- 奨学金が正しく詳細に認知されていないのでは？

➡奨学金が有効に活用されていないのでは？

3 取材結果

取材先選定

貧困家庭の母子の現状を知る
➡母子生活支援施設職員

学習支援に参加している当事者
➡NPO法人 Learning for All　学生ボランティア

家庭以外で教育に大きな影響を与える場＝学校
➡地方公立中学校教員

地域での教育支援に参加している当事者
➡NPO法人 子供の環境を守る会 Jワールド

母子生活支援施設 千代田寮職員
長島 様

母子生活支援施設とは？

要保護母子を受け入れ、社会的又は経済的に
自立できるよう総合的な支援を行い、
心理ケアや家事支援、保育や学習指導を行う。

母子生活支援施設 千代田寮職員 長島 様

母子と関わる中で、教育について課題に感じることは？

- 収入が安定せず、教育への支出を把握していないため、漠然とした**金銭的不安**がある
- 入居者の回転が速く、施設を出た人同士のつながりも強くないため、**教育や奨学金に関する情報（体験談）が得づらい**

母子生活支援施設 千代田寮職員
長島 様

子どもの教育において大きな影響を与えることは？

- 親子関係
- 施設内外問わず、様々な人とのつながり

➡学びに向かう力や、人間性、基本的生活習慣など学びの基礎

母子生活支援施設 千代田寮職員
長島 様

貧困でも進学したい場合、奨学金を利用することが多い。
奨学金制度について課題に感じることは？

奨学金制度が複雑であること。

- 国/自治体/学校など実施主体は多いものの、それぞれについて選考条件や申し込み時期などを調べるのは大きな負担
- 奨学金が貸与/給付されても、その後の管理や返還の計画が立てづらい。

母子生活支援施設 千代田寮職員
長島 様

取材でわかったこと

・貧困家庭は教育にかけるお金がない

・奨学金を使うにも、調べるのが大変

・子と親、地域とのつながりが大切

Learning for All 学生ボランティアAさん

Learning for All とは？

「子どもの貧困に、本質的解決を。」

① 1人に寄り添う…居場所作り・学習支援・食事支援・親子支援

②仕組みを広げる…①のノウハウの提供・共有

③社会を動かす…課題の普及啓発、人材育成、政策提言

Learning for All 学生ボランティアAさん

現場において感じる、学習支援の課題は？

- ボランティアの確保が追い付かず、安定して質の高い教育を供給することができない。
- LFAの活動だけでは、**多様で複雑な教育ニーズに応えられない**

Learning for All 学生ボランティアAさん

取材でわかったこと

ボランティア不足解消や、多様な教育ニーズに応えるために

国主体で民間企業を巻き込んだ学校外教育の充実が必要

地方公立中学校の教員　Bさん

貧困家庭の子どもの特徴は？

- 親子のコミュニケーションが少ない
- そもそも基本的生活習慣が身についていない
- 落ち着いて勉強できる環境がない　…など

➡学力も低い傾向にある

地方公立中学校の教員　Bさん

そのような課題を抱える家庭へのアプローチ方法は？

・役所／教育委員会／児童相談所との連携

・進路相談・公的資金援助の紹介

・道具のリユース

地方公立中学校の教員　Bさん

取材でわかったこと

勉強以前に、学びに向かう力や人間性、基本的生活習慣などを身に付けさせることが大切

親だけでなく、学校やその他機関が協力して子どもの教育を支えていく必要がある

NPO法人 子供の環境を守る会 Jワールド
花畑様

どのような活動をしているの？

教育委員会や市役所、各学校と連携し、
子ども支援を行っている。

NPO法人 子供の環境を守る会 Jワールド
花畑様

活動していて感じる課題は？

- 学校側から、NPOの意義や事業内容を完全に理解してもらえないことがある

  ➡学校とNPO等その他機関の連携が崩れる

NPO法人 子供の環境を守る会 Jワールド
花畑様

取材でわかったこと

学校教員がNPO等学校外の機関の意義や

活動内容を理解し、地域全体で連携して

家庭教育支援を行うことが大切

4 課題の整理

取材前の仮説

課題（仮説）

- 奨学金が正しく詳細に認知されていないのでは？

➡奨学金が有効に活用されていないのでは？

取材を踏まえた課題の整理

課題A 高等教育を受けるか、受けないか

課題B 学校外教育を受けるか、受けないか

課題C 勉強以前に学びに向かう力や人間性、基本的生活習慣などを身に付けさせなければならない

顕在的

潜在的

5 政策提言

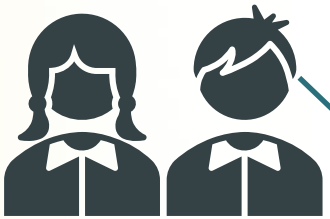
課題と政策提言

- 課題A ➡政策③
- 課題B ➡政策②
- 課題C ➡政策①

政策①

地域包括家庭教育支援

政策①



教育の土台となる
学びに向かう姿勢、基本的生活習慣などが
欠けてしまいがちな貧困家庭の子どもたち
（課題C）

→ 地域包括家庭教育支援

政策①

現状　…学校とその他機関との連携が取りにくい

理論・根拠 ＋ 現場

→ 教員とその他機関が地域包括家庭教育支援を理解し、実践！

政策①-１　地域包括家庭教育支援法

地域に根差した身近な人材それぞれが各自の分野の有する専門性を生かして連携と協力の関係を構築する

日常的な支援を基本に、専門的支援を必要とする家庭から現時点ではそのような必要性がない家庭まで、広くユニバーサルに切れ目のない支援を行う

循環的な支援によって、長期的な支援のネットワークを地域に日常的に形成する

政策①－２　人材育成

長期的な効果 ＋ 短期的な効果・継続的

教員の地域包括家庭教育支援に対する理解を深め、
その他機関との連携を強化

政策①－２　人材育成の内容

- 福祉や地域協働を追加

（例）コラボレーション教育　➡　他職種の理解を進める

子どもの貧困やその他の課題・現状を知る

学校外の機関と連携して課題を解決できる力を身につける

政策①　地域包括家庭教育支援

政策①-1
地域包括家庭教育支援法

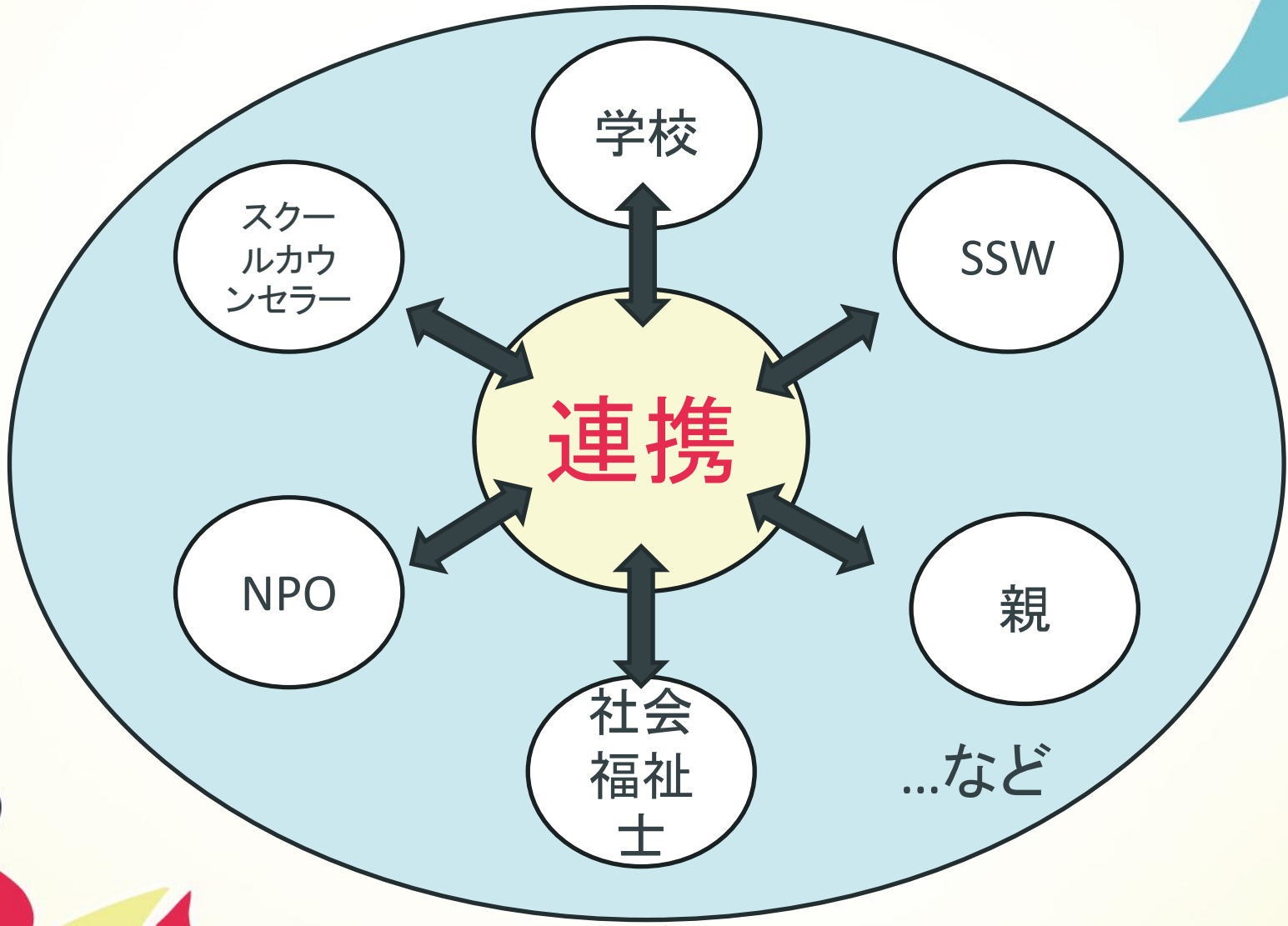
＋

政策①-2
人材育成

教職課程
カリキュラム

教員免許更新講習
カリキュラム

政策①　地域包括家庭教育支援



政策①　効果

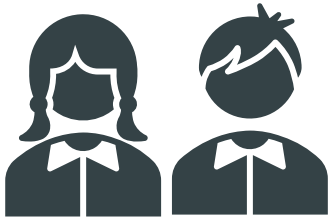
政策①
すべての子どもに学びの基礎を

政策②

習い事応援クーポンの給付

政策②

政策①から、地域の連携によって
教育の土台ができた子どもたち



小学校、中学校、高等学校
外でも学びを得たい！

➡でも…お金がない😟
（課題B）

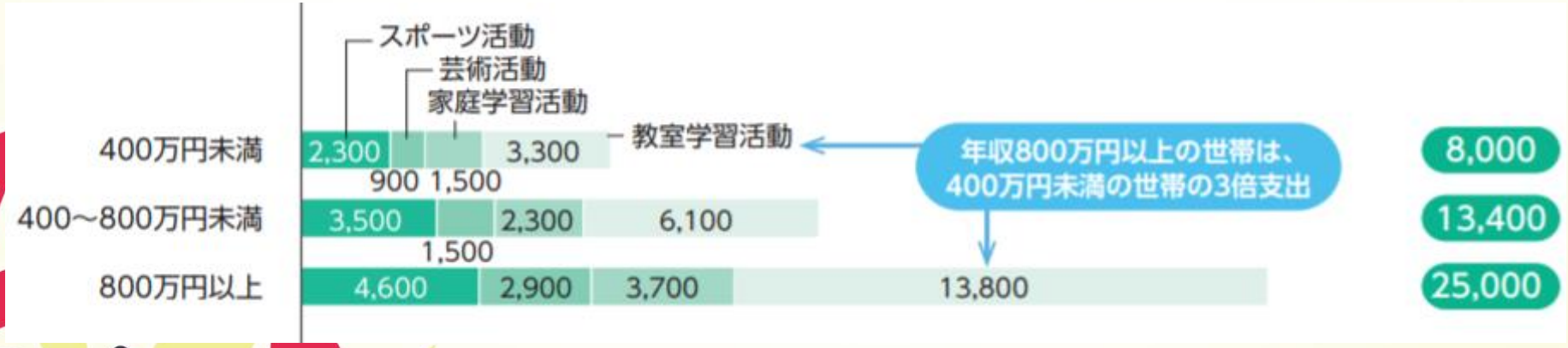
政策②

習い事応援クーポン

政策②　習い事応援クーポンの詳細

- 給付額　**13,400円**

- 子育て家庭の世帯年収の中央値：**678万円**
- 世帯年収400～800万円の世帯の1ヶ月あたりの学校外教育活動費：**13,400円**



政策②　習い事応援クーポンの詳細

・対象者 ⑴ 住民税非課税世帯

⑵ 小学1年生から高校3年生であること

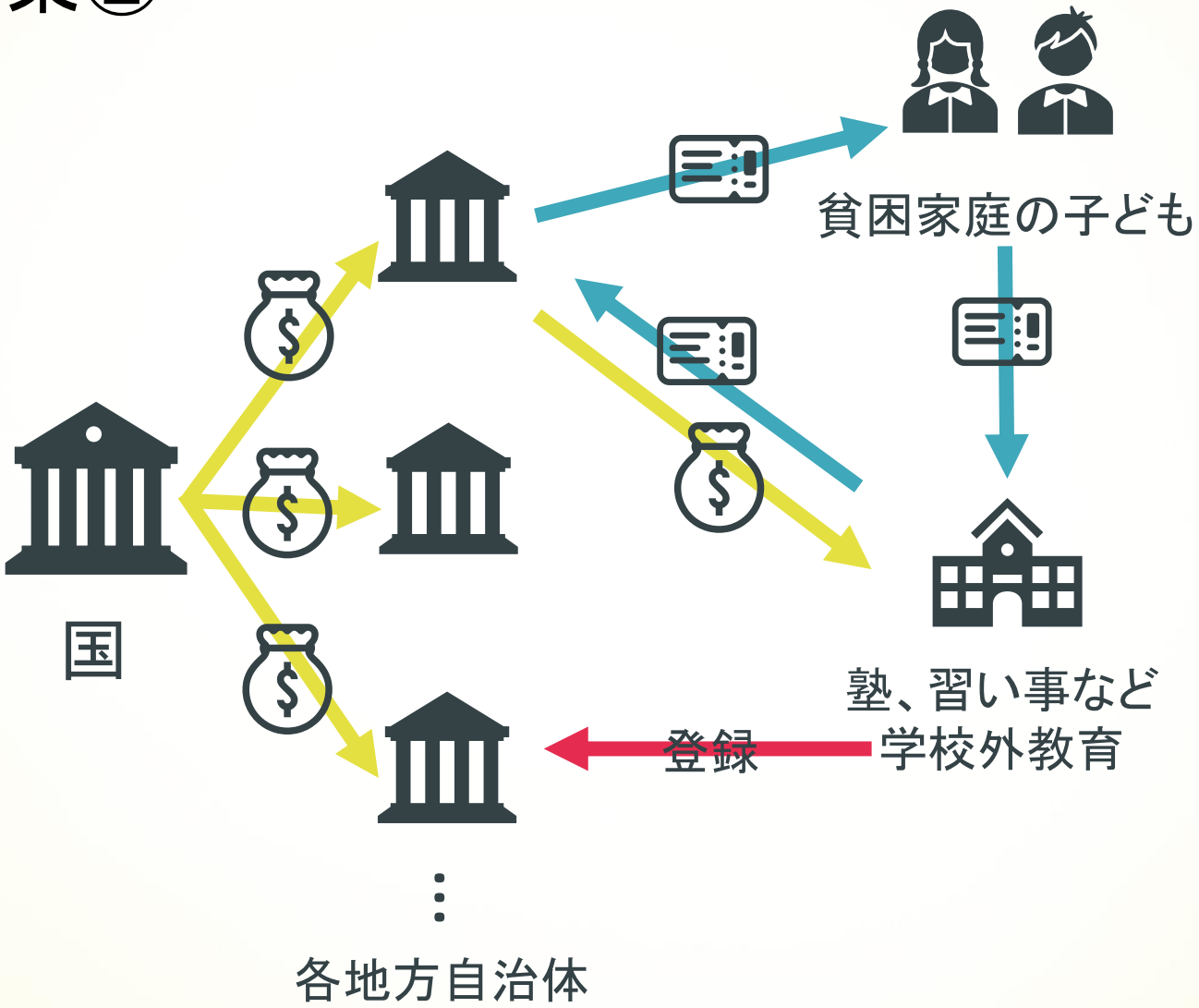
・財源　　税金

・実施主体　　国が主体　自治体に委託

→ 市区町村ごとに対象者数を集計し、予算を組む

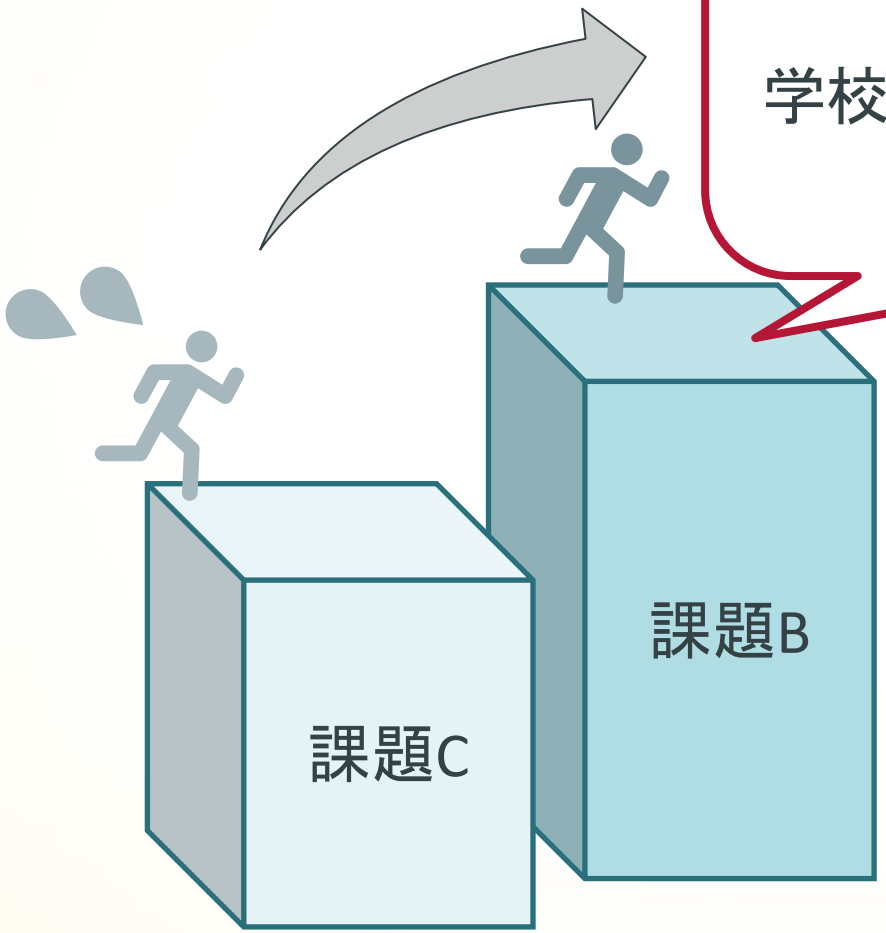
国から各自治体に予算を配分

政策②



政策②　効果

政策②
全ての子どもに
学校外教育を受ける選択肢を



政策③

奨学金情報サイト

政策③

政策①②から、学びに向かう力や
学力を身につけた子どもたち

高等教育機関に
進学したい！

➡でも…お金がない😟
（課題A）

政策③　従来の奨学金の課題

- 国/自治体/学校など実施主体は多いものの、それぞれについて選考条件や申し込み時期などを調べるのは大きな負担

- 奨学金が貸与/給付されても、その後の管理方法や返還方法がわからない

政策③　奨学金情報サイトのイメージ①

JASSO 奨学金検索.co

キーワード検索

詳細検索

学校の種類
☐国立大学　☐公立大学　☑私立大学　☐公立短期大学　☐私立短期大学…

所在地
☑東京都　☐北海道　☐青森県　☐宮城県　☐秋田県　☐山形県　☐福島県…

給付/貸与の種類
☑給付　☑貸与

◎POINT◎

- 様々な条件から検索できる！

政策③　奨学金情報サイトのイメージ②

政策③　奨学金情報サイトのイメージ③

JASSO 奨学金検索.com

奨学金利用情報

大学名を入力

奨学金名を入力

絞り込み検索

◎POINT◎

様々な条件から、奨学金を借りた先輩の体験談を調べることができる！

属性

☐大学生　☐社会人（返還中）　☑社会人（返還済）

性別

☑男性　☑女性

⋮

政策③　奨学金情報サイトのイメージ④

JASSO 奨学金検索.com

<<戻る

社会人
女性

利用した奨学
日本学生支援機構　第　　学金

返還額/貸与総額
□円/□円

学生時代の収入（アルバイト等）
◎◎円

学生時代の支出の内訳

学部1年　〇〇費	△△費	××費

返還方式・返還計画
定額返還方式/☆円×★ヶ月

先輩の体験談

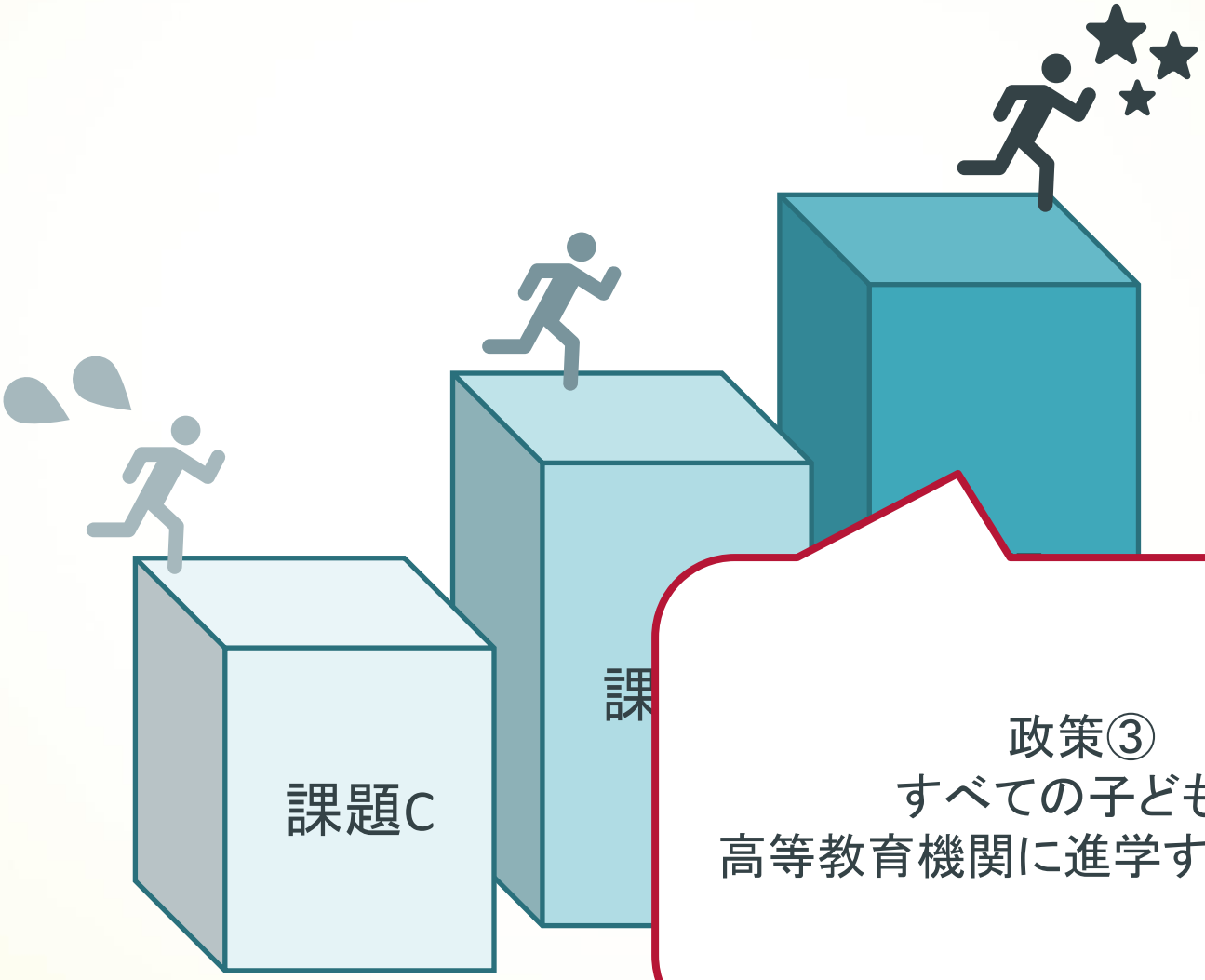
◎POINT◎

先輩の実体験から、奨学金を借りる
具体的なイメージを把握

政策③　奨学金情報サイト

- 運営主体：日本学生支援機構（文部科学省）
- 周知方法：学校での説明会やビラなど

政策③　効果



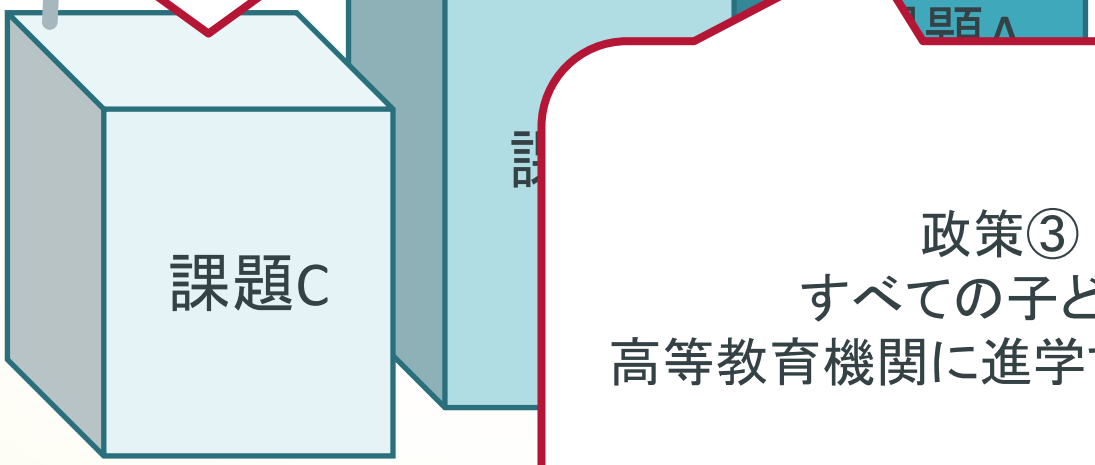
6 まとめ

まとめ

教育の機会均等

政策②
すべての子どもに
学校外教育を受ける選択肢を

すべての子



政策③
すべての子どもに
高等教育機関に進学する選択肢を

7

お世話になった方々

参考資料

お世話になった方々

- 母子生活支援施設 千代田寮　職員　長島 茂代さん
- NPO法人 Learning for All　学生ボランティア　Aさん（匿名希望）
- 地方公立中学校教諭　Bさん（匿名希望）
- NPO法人 子供の環境を守る会 Jワールド　花畑様

参考資料

ベネッセ　学校外教育活動に関する調査
https://berd.benesse.jp/up_images/research/2017_Gakko_gai_tyosa_web.pdf

文部科学省　大学進学機会の格差と学生等への経済的支援政策の課題
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2017/11/29/1398333_3.pdf

進路を変更・断念する理由――進学率70%以上と30%未満の高校で違い
https://www.itmedia.co.jp/makoto/articles/0904/21/news063.html

高卒採用Lab なぜ働く? 高校生の就職動機を知る【高校生の就職活動アンケート】
https://lab.jinjib.co.jp/archives/1500

ベネッセ 高校生活と進路に関する調査
https://berd.benesse.jp/up_images/research/koukouseikatsu.pdf

参考資料

テキストスタディ・タウン　国の教育ローン
https://www.studytown.jp/hi/column/education_loan/

キッズドア　経済的事情で塾に通えない中学生のための無料塾(港区）
https://kidsdoor.net/request/2021/09/21/

東京都福祉保健局
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/seikatsu/teisyotokusyataisaku/jukenseichallenge.html

【家庭教育支援チーム】
https://katei.mext.go.jp/contents4/pdf/12_kodomo.pdf

慶應義塾大学経済研究所
https://ies.keio.ac.jp/publications/10517/

参考資料

文部科学省　「家庭教育支援チーム」の手引書
https://katei.mext.go.jp/contents4/pdf/H30_team_tebikisyo.pdf

学校・家庭・地域連携推進関連資料
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/103/shiryo/__icsFiles/afieldfile/2014/10/09/1351194_09.pdf

昭和女子大学現代教育研究所紀要　文部科学省の家庭教育支援政策について
―「家庭教育支援チーム」をめぐって―
file:///Users/shunsuke/Downloads/03%E5%8F%8B%E9%87%8E.pdf

文部科学省　子供達の未来をはぐくむ家庭教育
https://katei.mext.go.jp/contents4/4-1.html#teamichiran

参考資料

NPO法人子どもの環境を守る会　Jワールド
http://kosodate-hiroba.com/

文部科学省　家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2017/04/03/1383700_16.pdf

※いずれも最終閲覧日は2021/11/27

ご清聴ありがとうございました 😌